

東日本大震災10年

ZOOMセミナー

# 大川小学校の教訓を未来の 災害・減災に生かす

～学校を拠点とした「総合的学区連携防災構想」の可能性～

12月14日(月)19時～20時 講師 鷲山龍太郎氏



東日本大震災の津波で児童と教職員計84人が犠牲になった旧大川小学校(宮城県石巻市)で11月4日、新任校長が遺族の話を聞く県教育委員会の研修が初めて開かれた。遺族と係争中だったため見送られてきたが、震災10年を前に「命の尊さを学ぶ場に」と求めた遺族の願いがようやくかなった。

東日本大震災における石巻市立大川小学校の被災は、児童職員84名の人命が失われた。また、学校が所在した地区の住民の死亡率は83.7%に達したとされる。昨年の最高裁判決主文、それに応えた文科省の文書をもとに分析し、その教訓を生かして、迫り来る首都直下型地震、南海トラフ巨大地震を克服できる地域社会の未来像を考察する。校長として横浜の小学校を拠点にした地域、学校、保護者等の連携を実践してきた演者が、学区を単位とした「地区(学区)防災計画」の可能性と、地区の事業所、医療等が地区防災計画の中で連携していく「総合的学区連携防災構想」を提案する。

## 講師プロフィール

鷲山龍太郎氏

防災士 元横浜市立小学校長 防災塾・だるま副塾長

校長として、東日本大震災以来、学校、地域、保護者等と連携した防災まちづくりを実践。

退職後は、自治会、学校、教委等様々な機関への防災講演、助言、地学・防災イベント支援活動を展開。

## 参加応募方法

先着順。定数になり次第締め切ります。受付完了後当日使用のテキストとZOOMインストール方法を記載した資料をメールに添付して送ります。参加費無料。

\*ksvn.boshu@gmail.comからのメールを受け取れるように設定をお願いします。

このセミナーはZOOMを使用してオンラインで開催します。ZOOMを使用出来る環境が必要です。ZOOM参加定員50名。直接講座の参加を希望する方は当日かながわ県民活動サポートセンター11階コラボスタジオに開始時間まで来てください。定員8名。事前申込必要。定員になり次第締め切ります。

申し込み Web フォーム

Web フォーム URL <https://onl.tw/pLceUHC>

QRコード



主催 NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク 連絡先 高坂 0902729-1246

主管 神奈川災害ボランティアネットワーク防災教育委員会 川辺裕子委員長